

岐阜県立 GIFU ACADEMY OF FOREST SCIENCE AND CULTURE 森林文化アカデミー



森と木の クリエイター科

2027年度 入学案内

対 象 22 歳以上

修業年限 2 年制

定 員 20 名



Forestry

林業



Environmental Education

森林環境教育

プロフェッショナルになる。森と人と文化の交差点で。



Wooden Architecture

木造建築



Woodwork

木工



森と木。地域と人。
文化と技術。
すべてをつなぎ、
新しい社会をつくる、
はじめての一步は、
ここから。

岐阜県立森林文化アカデミーの基本理念は「森林と人との共生」。

すべての人々が森林と親しく関わりを持ち、
森林からの恵みを持続的に享受できる社会づくりを目指し、
全国で初めての森林教育・学習機関として、2001年、岐阜県美濃市に開学しました。

森が育んだいくつもの伝統文化や技術、そして人の暮らし。それらを守り、
そして発展させ、新しい時代の生き方、働き方を提案しています。

「森の国」日本では今、国産材が改めて見直され、社会全体で利活用が促進されています。

大学卒業程度、社会人経験者を対象とした2年間のプログラム「森と木のクリエイター科」では、
高度な専門知識と、徹底した現地現物主義で、実践力を養います。

その先にある未来は、あなたが創り上げていくのです。

美濃の里山に囲まれた校舎



年齢も出身も経歴も様々な人材が全国から集い、大切な仲間になっていく2年間の学生生活

森と木のクリエイター科

5つの特徴

1 平均年齢は35歳 22歳から60歳代まで、幅広い世代が集う

森と木のクリエイター科は、大学卒業または社会人経験者が対象。つまり、大学院のような学科です。入学時の平均年齢は35歳。(2023年度末集計) 森や木に関わる仕事がしたい、地域社会に貢献したい、と考える人が、スキルを身につけるために全国から集ってきます。前職で身につけたスキルも、新しい生き方や働き方に必ず役立ちます。



2 常勤教員18人が少人数指導で学びをサポート 進路に合わせて組み立てるカリキュラム

全学生数は80人。その半分のクリエイター科で、学生と教員の割合は2:1。県立の学校ならではの贅沢な学びの環境が用意されています。カリキュラムは画一的なものではなく、個々がめざす進路に合わせて学生が自ら組み立て、18人の経験豊富な常勤教員が、腰を据えてサポートします。少人数制だからこそ、充実したディスカッションや実習・研究が可能です。大学や社会人経歴を経て、目的が明確になっているからこそできる学び方です。



3 森と木をキーワードにつながる 他校にない幅広い分野とネットワーク

林業、森林環境教育、木造建築、木工という異なる4分野が繋がっている学校は、全国でも他にありません。森から木へ、さらに人の暮らしへと続く流れの中で学ぶからこそ、深く理解できることがあります。また、岐阜県は豊富な森林資源を生かした林業が盛んなことに加え、飛騨の匠の歴史が示す通り、木材利用の面でも優れた産業があります。県内市町村と連携協定を結んでおり、地域のさまざまな産業とのつながりも、岐阜県ならではの強みです。

4 社会の課題解決と自らの夢の実現をめざす 課題研究

クリエイター科の学生は2年次になると、自ら課題を設定して研究に取り組みます。社会人経験がある学生も、大学卒業後すぐアカデミーにやってきた学生も、テーマは「自分が学んできたことを生かして、社会の課題をどう解決できるか」。1年間をかけて実践する課題研究は、卒業後の就職や起業へ向けた助走でもあります。



5 ドイツ・ロッテンブルク大学との交流で 国際的な視野を身につける

平成26(2014)年、森林文化アカデミーはドイツ・バーデンビュルテンベルク(BW)州のロッテンブルク林業大学との間で連携協定を締結しました。林業、森林環境教育、木造建築など、アカデミーと同じような学科構成を持ち、州の森林官(フォレスター)をはじめとする人材育成を行っている大学です。両校の間では教員同士の交流、研究活動の実施、学生の相互派遣などを行っています。ドイツに学び、グローバルな視野を獲得できます。



林業専攻

森林利活用分野
Forestry



森林の多様な機能を高度に発揮させ 維持することのできる 森林経営の専門家を目指す

林業専攻では、多様な森林経営を構築するための考え方や技術を学びます。森林が持つ木材生産機能と様々な公益的機能を発揮させるには、健全な森林経営と適正な施業技術が欠かせません。また、これからの林業界には木材生産・木材流通の多様性が求められます。こうした要請に応えるためには、中・長期的な視野に立った森林施業に立脚した森林経営が必要であり、また、木材需要と木材供給をつなぐコーディネートが重要となります。多角的な視点で森林・林業・木材流通などを学び、これからの時代をリードする専門家を目指します。



特色
1

エビデンスをもって多様な現場に応えられる力を身につける
自然科学を基礎とした技術の合理性、木材需要を考慮した経済的合理性を根拠とする、現場対応型の施業技術を学びます。



特色
3

豊富な施設、機材を使った現物の学びを学内で提供
高性能林業機械、集材機、製材・加工施設から炭窯まで、豊富な施設、機材等を有し、林業の一連の流れを学内で実習できます。

取得を目指す主な資格

- 森林総合監理士(フォレスタラー)
- 森林施業プランナー
- 技術士(森林部門・環境部門)
- 林業技士
- 森林情報士
- 狩猟免許 など

卒業後の進路

半数を超える卒業生が、川上側で森林管理や木材生産など直接的に林業に関わる仕事に就いています。その多くは、林業事業体や森林組合で現場経験を積み、森林施業プランナーなど次のステップを目指します。家業の林業経営や事業体経営を継ぐ人、NPOを立ち上げ地域の森林管理を担う人もいます。また、川中・川下側において、森林・林業の理解者として、木材流通や木材加工の仕事に就いたり、公務員として林業をサポートする仕事に就く人もいます。



作業道の計画において、路線の縦断勾配を手動レベルで確認



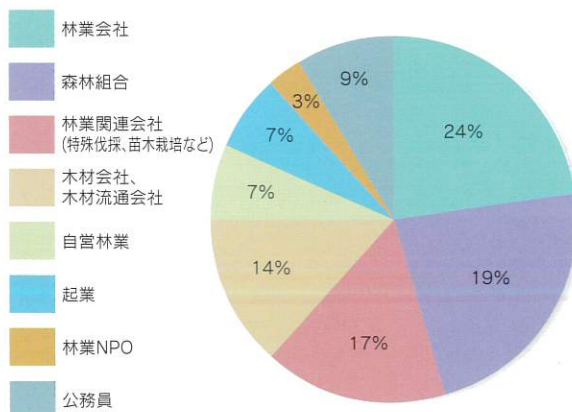
特色
2

現場で今まさに生じている課題に取り組む
森林を科学的に見ることに加え、地域との関わりから見えてくる課題も聞き取り、実際の現場に落とし込むための事業を立案する。理論と実践、両面から学びます。



特色
4

地域の行政、林業・林産業関係者が学びを支援
地域の行政や林業・林産業関係者との連携、協力により、プロジェクトや試験研究への参加など、様々な実習フィールドが確保されています。



森林環境教育専攻

森林利活用分野
Environmental Education



森の空間と資源を活かした 「教育」「保全」「地域づくり」のプロを目指す

「森づくりは、人づくり・地域づくりから始まる」をモットーに、森林空間を多面的にとらえ、森林と地域資源を活かして「教育」「保全」「地域づくり」の分野で活躍できるプロを育成しています。「森と人をつなぐ指導者」「里山マネジメント」「インタープリティブな考え方・技術の習得」「地域とローカルビジネス」の特色ある4つの学びに担当教員を配して、次の3つのステップで学びます。

- ①基礎から応用までの科目履修
- ②自主的な学びと社会実践のためのアクティブラーニング
- ③担当教員とマンツーマンで卒業後の強みをつくる課題研究



特色
1

感じ発見する・伝える
「感じ発見できる力」を身につけるために、野外での観察を通して生物の生態を学びます。そして自然の素晴らしさを多くの人に伝えるために、「インタープリテーション」などの伝える技術を学びます。



特色
3

学びをつなげる「キャンプ・ベースド・ラーニング」
入学して1年生の前期は「こどもキャンプ」を実際に運営することを目標に、様々な科目が連動する実践的な学びを提供。野外活動の基礎や安全管理、プロジェクトの企画運営など、総合的で実践的なスキルが身につきます。

取得を目指す主な資格

- 森林インストラクター
 - ネイチャーゲーム指導員
 - キャンプインストラクター
 - 自然観察指導員
 - 生物分類技能検定2級
 - 岐阜県コミュニティ診断士
- ※カリキュラムで取得を保証するものではありません。

卒業後の進路

全国に4000校ある多様な自然学校スタッフ、森のようちえん指導者・アドバイザー、自然公園のビジターセンタースタッフ、エコツアーリズム団体のガイド・コーディネーター、都市公園の指定管理団体、自然環境コンサルタント、森林空間を活用した6次産業型の林業事業体、森林空間や里山資源を活用した起業家、まちづくり事業体、その他(公務員、教育団体、福祉団体、大学院進学など)



自ら考え実践する「里山キャンパスプロジェクト実習」



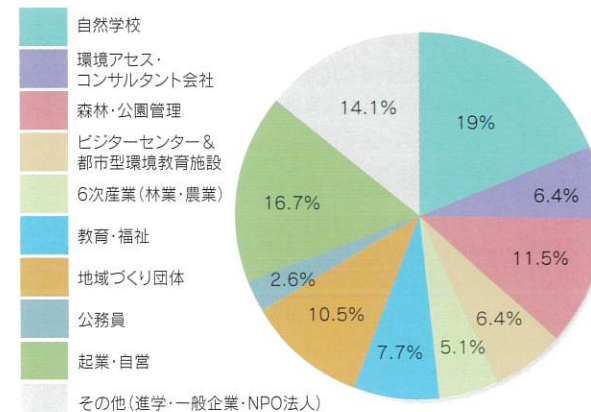
特色
2

特色あるリアルな学び
バーマカルチャー実習や馬搬など、全国でも珍しい学びの機会が多数。ドイツをはじめ国内外の現場視察や、日々リアルな実践ができる森林総合教育センター「morinos」、森のようちえんがあります。



特色
4

新しい学びを生み出す「里山キャンパス」
持続可能な社会のヒントは日本の「里山」にある――「暮らし」をテーマに、森、食、資源循環、再生可能エネルギーなど、課題の設定から実践まで自分たちでつくる、新しい学び方が始まっています。



木造建築専攻

木材利用分野
Wooden Architecture



木造建築の楽しさと奥の深さを知り、新しい時代を見据えた高度な技術を得し、一流の設計者を目指す

木造建築専攻は、木の建物の美しさ、快適さ、奥の深さ、そしてそれをつくる楽しさを知ることができる学びの場です。日本でも唯一の「木造」に特化した、超実践的な学びを行なっています。特に演習林の木を使って建てる「自力建設」は森林資源の「川上」を意識した、他にない貴重な実習です。「実践プロジェクト」では専門教員と共に、実際の実務を通して、高度で最新の技術を身につけ、誰にも負けない特技を持ったプロフェッショナルを目指します。



自力建設プロジェクトで学生間の意見を出し合う



特色
1

実践を通して学ぶ「自力建設プロジェクト」

入学してすぐに、学生が自ら設計・施工で小さな建築物をつくります。演習林で伐出した木を製材・墨付・刻みし、1年かけて竣工します。



特色
2

リフォーム時代の必須科目「木造建築病理学」

木造建築・住宅に関する調査手法や、定量的な性能評価、説明力などの改修技術を体系的に学びます。2006年に森林文化アカデミーから始まった、これからの設計者に求められる必須技術です。



特色
3

社会で求められる実践力「地域実践プロジェクト」

学外の建築実務者と協同行います。住宅の設計・監理や構造試験、木材強度試験など、実際のプロジェクトに参画します。



特色
4

次世代版設計の先取り「木造建築の性能設計」

現状の設計手法はもちろんですが、将来の建築実務で役立つ構造、省エネ、防耐火など木造建築の性能設計の手法を学びます。

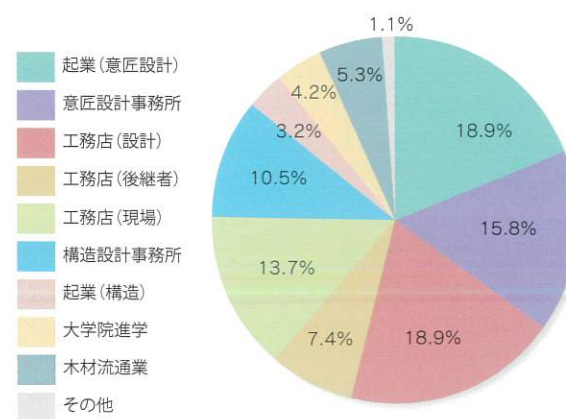
取得を目指す主な資格

- 木造建築士(卒業後、すぐに受験・免許取得可能)※所定科目を修了した場合
- 2級建築士(卒業後、すぐに受験・免許取得可能)※所定科目を修了した場合
- 1級建築士(卒業後、すぐに受験可能。実務経験4年で免許取得可能)※所定科目を修了した場合

卒業後の進路

卒業後は、「木材や林業に明るい」「自分の強みを持っている」という特徴を持った建築士として活躍しています。

1)地元産の木材利用を意識している、2)木構造に明るい、3)省エネルギーに強いなどの特徴を持つ設計事務所、工務店へ就職しています。さらには、自分の理念や強み(例えば構造が得意)を活かしての起業や、事業の後継者(例えば家業の跡取り)として活躍する人もいます。地元産の木材の上手な使い手となることは、林業を支え、山村の振興に繋がります。



木工専攻

木材利用分野
Woodwork



地域材を生かした木工製品の企画・製作や、木工教室の運営など、資源に技術で付加価値をつけ、地域を豊かにする専門家を目指す

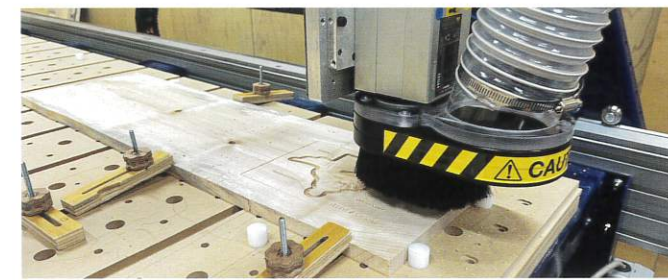
木工専攻では手工具や機械を使い、小物から家具に至るまでの製作全般を学びます。初めて木工を学ぶ人が技術を安全に身につけられるよう、様々な実習が用意されています。しかし技術の習得はあくまで手段。目的は、身近な森林資源により高い付加価値をつけ、新たな人や経済の循環を生み、地域を元気にすることです。その土地ならではの素材や文化を生かした木工製品づくりを実践的に学びます。また、木工教室や木育の活動など、ものづくりを趣味として楽しみたい、森や木に触れて心を豊かに育みたいという需要に応えるため、講座を企画運営できる力を身につけます。



特色
1

手工具、木工機械を一から習得、基本技術を磨く

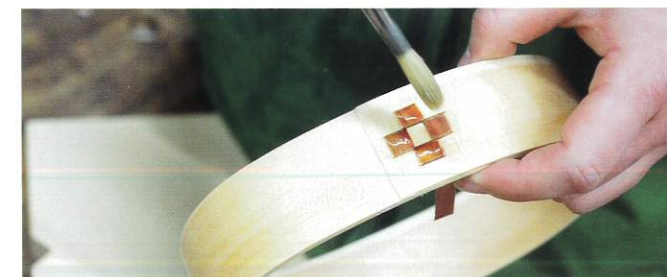
手工具でスプーンや箸、木工旋盤でお椀や皿、木工機械で小箱やテーブル。1年次では自分が使うものを作りながら、基本技術を身につけます。



特色
2

木工×「デジタルファブリケーション」の実践

CNCやレーザー加工機などのデジタル技術と手作業を組み合わせ、地域材の特性を活かした木工製品の製作方法を実践的に学びます。



特色
3

「伝統技術」職人から学び、体験する

弁当箱やせいろなどの曲げ物、竹籠を編む竹細工、漆塗り、鍛冶体験など、伝統的な技術を職人から学び、体験する実習があります。



特色
4

「木育」もの作りを教育や暮らしの中に落とし込む

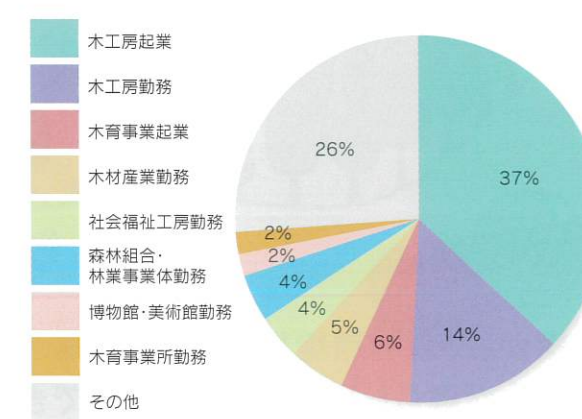
もの作りの技術を活かした木育講座の企画や実践を行い、森や木に触れる場作りの手法、ワークショップの運営スキルを身につけます。

取得を目指す主な資格

木工や木育を実践するために必要な資格は、特にありません。森林文化アカデミーで木工を学んだ卒業生の中には、岐阜県から「ぎふ木育推進員」を委嘱され県内各地でさまざまな木育活動を行っている人たちがいます。

卒業後の進路

一般的な木工の専門学校(職業訓練校など)に比べ、多様な進路があります。卒業直後に木工を自ら起業して地域材を生かした新しい製品をプロデュースしたり、そのような工房等に勤務したりする人が多いです。木工・木育講座を企画運営するNPO法人を自ら立ち上げる人もいます。木材の流通に関心を持ち、製材所、銘木店、住宅建材の加工業などに勤務する人もいます。また、森林組合で地域材の普及や木育の活動に関わる仕事をする人もいます。



学びの場としてのアカデミー、そして岐阜県。

岐阜は木の国、山の国。

岐阜県は森林率全国第2位、製材所数は1位。全国でも有数の木材の集積地。豊かな森が学びのフィールドです。

さらに飛騨の家具や本美濃紙など森林資源を活用した伝統工芸も盛んです。

アカデミーがある美濃市には歴史的な「うだつの上がる町並み」があります。

先人の知恵を尊重し、人の工夫を加えることで、より良い暮らしにつなげます。



美濃市・重要伝統的建造物群保存地区「うだつの上がる町並み」

充実の環境・設備で学びをサポート

隣接する33haの演習林や、様々な高性能林業機械、製材機など全国の林業系学校の中でも最も充実した環境・設備。



高性能林業機械



学内の大型製材機



演習林

校舎に隣接する33haの演習林



林業から、森林環境教育、木造建築、木工へ。

森の木が暮らしに届くまでを一望できる現地現物主義の学びの場。

進化する木造建築群

面格子や樹状立体トラスで構成された7,500㎡の木造校舎群。地域材利用と計画で数々の建築賞を受賞！

morinosや林業機械学習棟でパワーアップする校舎。さらに学びに必要な機能や施設を自力建設で毎年増設。



センターゾーンの緑豊かな学び舎
奥に見える庇と通路は2021年度に学生が建設した自力建設



学生が携わり2020年に竣工したmorinos



大型木工機械が並ぶ木工房

「川上」から「川下」まで
森林資源の流れのすべてを学内で実現。



木造建築

木工

教員紹介



WAKUI Shiro
学長 涌井 史郎
専門分野 造園・ランドスケープデザイン
Taxus cuspidata イチイ イチイ科 イチイ属

全学生数80人に対し、
常勤教員が18人。
森と木に関わる
ユニークな専門家たち。
アカデミーだからこそ、
新しい試みや学びが
次々に生まれます。



SHIOTA Masahiro
林業 塩田 昌弘 准教授
専門分野 林産、森林作業道
足しげく通える森林をつくる。
1円でも多く、木材を通して利益を得る。
汗を厭わない若者が、
安全に、心豊かに働ける現場を目指す。
Fagus crenata ブナ ブナ科ブナ属



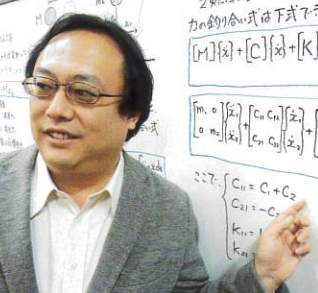
SUGIMOTO Kazuya
林業 杉本 和也 准教授
専門分野 林業における生産システム
森林作業における生産管理
伐採搬出作業におけるシミュレーション
持続可能な林業は
森・人・組織のマネジメントから。
Alnus matsumurae ヤハズハンノキ カバノキ科ハンノキ属



YANAGISAWA Nao
森林環境教育 柳沢 直 教授
専門分野 植物生態学
里山の自然を守り、
育み、有効活用する。
持続可能社会は里山から。
Acer mono var. ambiguum オニヤダ ムクロジ科カエデ属



HAGIWARA Nava Yusaku
森林環境教育 萩原・ナバ・裕作 教授
専門分野 自由な遊び & 自由な学び
環境教育 インタープリテーション
森のようちえん、プレーパーク、
インタープリテーション、
バーマカルチャー。
Magnolia obovata ホオノキ モクレン科モクレン属



KOHARA Katsuhiko
木造建築 小原 勝彦 教授
専門分野 木造建築構造、
建築振動、住育
伝統構法～新構法の
木構造を専門とし、
IT技術との融合に取り組んでいます。
Zelkova serrata ケヤキ ニレ科ケヤキ属



TSUJI Mitsutaka
木造建築 辻 充孝 教授
専門分野 木造建築設計・温熱環境・
省エネルギー
木を活かす建築設計、
健康・快適性向上の温熱環境計画、
省エネ計画が専門。
Lindera triloba シロモジ グスノキ科クロモジ属



ISHIHARA Wataru
木造建築 石原 亘 講師
専門分野 木材利用、木材加工技術
木材のある暮らし、
木材と人との関わり、
一緒に考えていきましょう
Broussonetia kazinoki x B. papyrifera コウゾクワ科コウゾ属



KUTSUWA Masashi
木工 久津輪 雅 教授
専門分野 木工
グリーンウッドワーク（生木の木工）、
伝統工芸の原材料確保と
後継者育成支援。
Quercus crispula ミズナラ ブナ科コナラ属

特別招聘教授
隈 研吾 (建築家)
市川 晃 (住友林業株式会社 代表取締役会長)
末松 広行 (東京農業大学 農生命科学研究所教授)
名誉客員教授
三澤 文子 (Ms建築設計事務所 代表取締役)
客員教授
狹土 秀平 (職人社秀平組 代表)
小田 忠信 (株式会社クインビーガーデン 代表取締役)
飯島 健太郎 (東京都市大学 総合研究所教授・環境学部併任教授)

超一流の講師陣が、
ユニークで高度な
学びを
提供します。



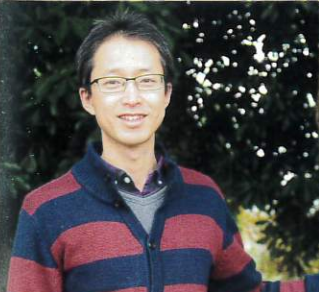
NIITSU Yutaka
林業 新津 裕 准教授
専門分野 森林空間の利活用
森林獣害・森林教育
施業と森林の空間利活用から
森林の持っている価値を見直す。
Quercus acuta アカガシ ブナ科コナラ属



KOBAYASHI Kenichi
森林環境教育 小林 謙一 准教授
専門分野 コミュニケーションデザイン
環境教育・インタープリテーション
多様な人が共創する場のデザイン、
プロジェクトマネジメント。
Sapindus mukurossi ムクロジ ムクロジ科ムクロジ属



YOSHINO Anri
木造建築 吉野 安里 准教授
専門分野 木材利用
き(木・気)づかい、
き(木・気)くばり。
Betula platyphylla シラカバ カバノキ科カバノキ属



MAENO Ken
木工 前野 健 准教授
専門分野 木育・木工・
木製玩具の企画・開発
木工と木育。おもちゃや遊び、
モノ作りを通して、街と森をつなぐ。
Sciadopitys verticillata コクヤマキ コクヤマキ科コクヤマキ属



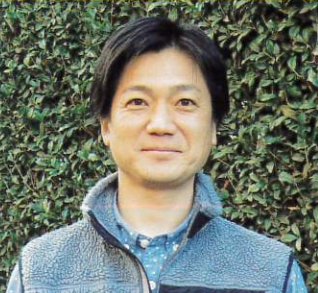
TSUDA Kaku
林業 津田 格 教授
専門分野 菌学・線虫学
きのこなどの特用林産物の利用と
森林保護。
菌を通して森林利用を考える。
Quercus serrata コナラ ブナ科コナラ属



OBORA Tomohiro
林業 大洞 智宏 准教授
専門分野 森林施業(造林・育林)
自然環境、目的に合った
森づくりを考える。
Aesculus turbinata トチノキ ムクロジ科トチノキ属



NAKAMORI Satsuki
林業 中森 さつき 講師
専門分野 森林生態学
森林生態系の保全と管理
Cerasus jamasakura ヤマザクラ バラ科サクラ属



TANIGUCHI Goro
森林環境教育 谷口 吾郎 講師
専門分野 公園やビジターセンターの管理運営
環境教育・インタープリテーション
森・自然と人が出会う場として
自然公園・都市公園の在り方を探る。
Acer sieboldianum コハチデカエデ ムクロジ科カエデ属



MATSUI Takumi
木造建築 松井 匠 准教授
専門分野 木造建築設計、空き家対策、
グラフィックデザイン
木組の家づくり、古民家の改修、
絵を描くことによる審美眼教育。
Acer pycnanthum ハナノキ ムクロジ科カエデ属



WATANABE Kei
木工 渡辺 圭 准教授
専門分野 木工・家具製作
家具作り、木工ワークショップを通して
木材利用、地域材の活用を考える。
Lindera obtusiloba ダンコウバイ グスノキ科クロモジ属

入学金・授業料

	入学手続き時	前期	後期	計
入学金	282,000円	—	—	282,000円
1年時授業料	—	267,900円	267,900円	535,800円
2年時授業料	—	267,900円	267,900円	535,800円
合計	282,000円	535,800円	535,800円	1,353,600円

給付金制度

岐阜県緑の青年就業準備給付金

卒業後、林業分野※1へ就業し(就業時年齢45歳未満)、その中核を担うことに強い意志を持っている者に対し、在学期間中、1年間に上限115万円(最大2年間)を準備金として給付する岐阜県の制度です。

対象となる就業先業種※1

- | | | | |
|----|-------------|-----|----------------|
| 林業 | 1. 育林業 | 林業 | 1. 育林従事者 |
| | 2. 素材生産業 | 従事者 | 2. 伐木・造材・集材従事者 |
| | 3. 特用林産物生産業 | | 3. その他の林業従事者 |
| | 4. 林業サービス業 | | |
| | 5. その他の林業 | | |

美谷添奨学金

支給額 年額 105,000円
支給期間 1年間(1年時または2年時)
対象者 1学年1名ずつ(著しく優秀と認められる者)

岐阜県立森林文化アカデミー 特別給費生制度

支給額 年額 560,000円
支給期間 1年間(1年時または2年時)
対象者 1学年2名ずつ(著しく優秀と認められる者)

市町村連携学生支援制度

森林文化アカデミーが連携協定を結んだ市町村から、条件付返還免除のある授業料無利子貸付など多数の学生支援制度が設置されています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



※記載した奨学金制度・給付金制度は令和8(2026)年度の予定であり、変更される場合があります。
※詳しくは岐阜県公式ホームページ「岐阜県緑の青年就業準備給付金について」をご覧ください。

専修教育部門

森と木のエンジニア科

進学可

森と木のクリエイター科

対象：高校卒業程度 / 2年制 / 定員20名

対象：22歳以上 / 2年制 / 定員20名

一般専修教育部門として、現場に即応できる人材を育成します。「林業コース」「林産業コース」の2つのコースで学びを深めます。



林業コース

林産業コース

高等専修教育として、指導的役割を担う専門家を育成します。「林業」「森林環境教育」「木造建築」「木工」の4つの専攻で学びを深めます。



林業専攻

森林環境教育専

木造建築専攻

木工専攻

岐阜県立森林文化アカデミー

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88番地
TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529
E-mail info@forest.ac.jp

ウェブサイト Website

森林文化アカデミーについてもっと詳しく！学校のポリシー、入試情報、授業の様子や卒業生インタビューなど内容充実のHPです。

<https://www.forest.ac.jp/>

Facebook YouTube



岐阜県立森林文化アカデミー



募集要項の請求

メール、電話等にて森林文化アカデミー事務局まで請求(無料)してください。または、アカデミーホームページから様式をダウンロードしてください。